** 2024 年 7 月（第 7 版）
* 2017 年 3 月（第 6 版 新記載要領に基づく改訂）
医療機器承認番号：21500BZY00293000

機械器具　56　採血又は輸血用器具

管理医療機器　血液ガス検体採取用注射筒　16785000

BD クリティカルケアシリンジ

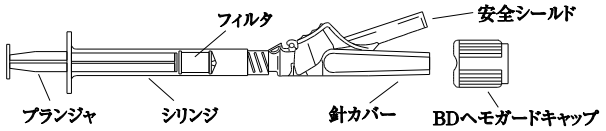
再使用禁止

【警告】
（1）透析回路等の陰圧回路から採血する場合は、吸引採血を行うこと。［血液に気泡が混入する可能性がある。］

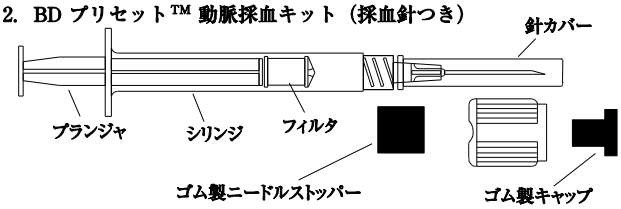
【禁忌・禁止】
（1）再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

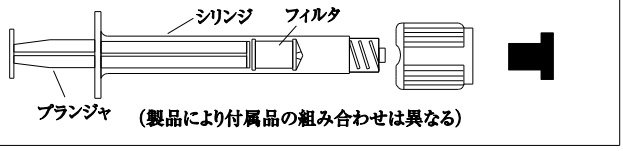
1. BD プリセット™ 動脈採血キット（安全機能付き採血針つき）（BD エクリプスタイプ）



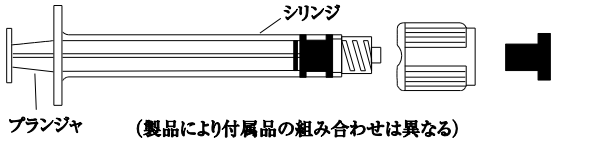
2. BD プリセット™ 動脈採血キット（採血針つき）



3. BD プリセット™ 動脈採血キット（採血針なし）



4. BD A−ライン™ 動脈採血キット

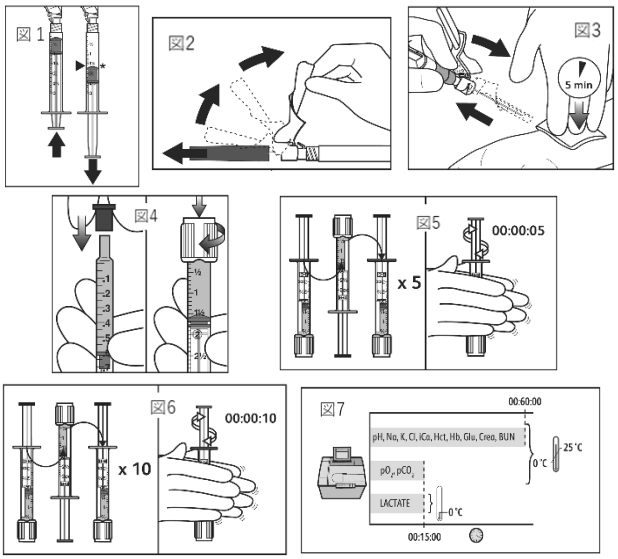


針の材質：ステンレス

【使用目的又は効果】
本品は、主として血液ガス及び電解質測定用の動脈血を採取する器具である。

【使用方法等】
1. BD プリセット™ 動脈採血キット（安全機構付き採血針つき）
**〈自動採血〉
** 1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込み、推奨採血量(1.6mL)より上にセットする。（図 1）
** 2）片手でシリンジを持ち、薄紫色の安全シールドをもう一方の手で手前に引く。（図 2）
3）半透明の針カバーを取り外して動脈穿刺し、血液がシリンジ内のフィルタにしみ込むまで採取する。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルタの通気孔膜から排出される。血液がフィルタにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
** 4）抜針し、直ちに安全シールドを人差し指又は親指でクリック音が鳴るまで作動させる。（図 3）
5）針部分を安全シールドごとシリンジから取り外し、各施設で定められた手順に従い適切に廃棄する。
** 6）シリンジに気泡が混入した場合は直ちに取り除く。
注意：血液が飛び散らないように注意する。
7）シリンジに BD ヘモガード™ キャップを確実に取り付ける。（図 4）
** 8）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
** 9）測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）
ヘモグロビンまたはヘマトクリットを測定する場合は、特に混和を十分に行う。
** 10）pH、Na、K、iCa、Cl、Hb、Hct、グルコース、BUN、Crea については、シリンジを氷上または室温で保存し、1 時間以内に分析する。pCO2、pO2、乳酸を含むその他の分析項目については、検体を 15 分以内に分析する。乳酸の検査では、採取と分析の間はシリンジを氷の上に置くこと。（図 7）

**



**〈吸引採血〉
1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込む。
2）針カバーを取り外して動脈穿刺し、プランジャをゆっくりと引き、完全にフィルタを血液で濡らしてから、各製品の推奨採血量を採血する。
** 3）〈自動採血〉3）～7）の使用方法に従って、操作する。

2．BD プリセット™ 動脈採血キット（採血針つき）
**〈自動採血〉
** 1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込み、推奨採血量（1.6ml）より上にセットする。（図 1）
2）半透明の針カバーを取り外して動脈穿刺し、血液がシリンジ内のフィルタにしみ込むまで採取する。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルタの通気孔膜から排出される。血液がフィルタにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
3）抜針し、針部分をシリンジから取り外して、各施設で定められた手順に従い適切に廃棄する。付属のゴム製ニードルストッパーがある場合には、ニードルストッパーに針を刺すことにより、安全に廃棄することができる。
** 4）シリンジに気泡が混入した場合は直ちに取り除く。
注意：血液が飛び散らないように注意する。
5）シリンジにキャップを確実に取り付ける。（図 4）
6）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
** 7）測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）
ヘモグロビンまたはヘマトクリットを測定する場合は、特に混和を十分に行う。
** 8）pH、Na、K、iCa、Cl、Hb、Hct、グルコース、BUN、Crea については、シリンジを氷上または室温で保存し、1 時間以内に分析する。pCO2、pO2、乳酸を含むその他の分析項目については、検体を 15 分以内に分析する。乳酸の検査では、採取と分析の間はシリンジを氷の上に置くこと。（図 7）

**〈吸引採血〉
1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込む。
2）針カバーを取り外して動脈穿刺し、プランジャをゆっくりと引き、完全にフィルタを血液で濡らしてから、各製品の推奨採血量を採血する。
** 3）〈自動採血〉3）～7）の使用方法に従って、操作する。

3．BD プリセット™ 動脈採血キット（採血針なし）
**〈自動採血〉
** 1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込み、推奨採血量（1mL シリンジは 0.6mL、3mL シリンジは 1.6mL）より上にセットする。
** 2）シリンジを消毒済みの活栓に装着し、シリンジを垂直に保ちながら、活栓を開けて、血液を流入させる。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルタの通気孔膜から排出される。血液がフィルタにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
** 3）採血後、活栓を閉めて、シリンジを取り外す。
** 4）シリンジに気泡が混入した場合は直ちに取り除く。
注意：血液が飛び散らないように注意する
5）シリンジにキャップを確実に取り付ける。（図 4）。
6）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
** 7）測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）
ヘモグロビンまたはヘマトクリットを測定する場合は、特に混和を十分に行う。
** 8）pH、Na、K、iCa、Cl、Hb、Hct、グルコース、BUN、Crea については、シリンジを氷上または室温で保存し、1 時間以内に分析する。pCO2、pO2、乳酸を含むその他の分析項目については、検体を 15 分以内に分析する。乳酸の検査では、採取と分析の間はシリンジを氷の上に置くこと。（図 7）

**〈吸引採血〉
1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込む。
** 2）シリンジを消毒済みの活栓に装着し、シリンジを垂直に保ちながら、活栓を開けて、完全にフィルタを血液で濡らしてから、プランジャをゆっくりと引き、推奨採血量を採血する。
** 3）〈自動採血〉3）～7）の使用方法に従って、操作する。

4．BD A-ライン™ 動脈採血キット
1）プランジャをシリンジ先端方向に完全に押し込む。
** 2）シリンジをラインに確実に接続する。
** 3）プランジャをゆっくりと引き推奨量（1mL シリンジは 0.6mL、3mL シリンジは 1.6mL）の血液を採取する。
* 4）採血後シリンジをラインから取り外す。
** 5）シリンジに気泡が混入した場合は直ちに取り除く。
注意：血液が飛び散らないように注意する。
6）シリンジにキャップを確実に取り付ける。（図 4）
7）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。
** 8）測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）
ヘモグロビンまたはヘマトクリットを測定する場合は、特に混和を十分に行う。
** 9）pH、Na、K、iCa、Cl、Hb、Hct、グルコース、BUN、Crea については、シリンジを氷上または室温で保存し、1 時間以内に分析する。pCO2、pO2、乳酸を含むその他の分析項目については、検体を 15 分以内に分析する。乳酸の検査では、採取と分析の間はシリンジを氷の上に置くこと。（図 7）

〈使用方法に関連する使用上の注意〉
* （1）全操作においてスタンダードプリコーション（標準予防策）に従い、適切な防護具（保護服、マスク、ゴーグル、手袋等）を着用すること。併せて、各検査室のガイドラインにも従うこと。

BD プリセット™ 動脈採血キット
（1）採血時にシリンジ内の空気が完全に排出される前に血液がフィルタに触れないように注意すること。[血液がフィルタにしみ込むことにより、通気孔膜が閉じ必要な採血量が確保できない可能性がある。]

【使用上の注意】
〈重要な基本的注意〉
* （1）注射に使用しないこと。
（2）包装を開封したら直ちに使用すること。
（3）使用前に、針がシリンジに確実に固定されているか確認し、針カバーを取り外したら速やかに穿刺すること。
（4）採血時には、血液との接触を防ぐため、手袋を着用する等の適切な標準予防策をとること。
（5）安全シールドをねじったり、過度な力を加えたりしないこと。[破損するおそれがある。]
（6）安全シールドの作動時は針刺し損傷に留意し、作動後は

シールドが完全にロックされ針が完全に覆われていることを確認すること。

(7) 安全シールドが正常に作動しなかった場合や、作動時に破損した場合は針刺し損傷に注意し速やかに耐貫通性廃棄容器に廃棄すること。

(8) 安全シールドがついていない場合、使用後の針はゴム製ニードルストッパーに刺すか施設の手順に従い、針刺し損傷や感染の防止に留意して、適切な耐貫通性廃棄容器に廃棄すること。

(9) 採血部位は穿刺前に消毒し、抜針後は 5 分間以上圧迫し続けて止血すること。

(10) 動脈ラインから採血する場合は、シリンジをラインに接続する前に活栓等を消毒する。

(11) 血管に穿刺した状態でプランジャを押し込まないこと。[血管内に気泡が混入する可能性がある。]

(12) 採血後シリンジ内に気泡がある場合は、気泡を抜いてから検体を混和すること。[誤った検査結果を招く可能性がある。]

* (13) シリンジに BD ヘモガード ™ キャップを取り付けるときは、シリンジにキャップをかぶせ、キャップが確実にシリンジに入るまで、回しながら押し込むこと。[取り付けが不十分な場合、転倒混和した際に血液漏れが起こるおそれがある。]

(14) 検体の取り違いを防ぐため、シリンジに適切なラベリングを行うこと。

(15) 針刺し損傷等によって血液曝露した場合は、直ちに流水でよく洗い、施設の手順に従い適切な医療処置を受けること。

** (16) 使用前に製品を室温に戻すこと。[性能が低下するおそれがある。]

** (17) 硬い面に押し付けて安全シールドを作動させないこと。[本品が破損するおそれがある。]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保存すること。

〈有効期間〉

使用期限は外箱及び個包装に記載。「自己認証による」

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

TEL：0120-8555-90（カスタマーサービス）

外国製造業者：

ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー

(Becton, Dickinson and Company)

* 国名：アメリカ合衆国